

# 東京体育学研究

Vol. 11

2020年3月

# 東京体育学研究 Vol. 11 目次

## 〈研究論文〉

筋収縮および弛緩が同肢内他筋の皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響

伊藤 優史(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)他 …………… 5

## 〈研究報告〉

幼児期における投球能力向上に関する練習方法の検証 —— 紙鉄砲を鳴らす動作に着目して ——

木下 まどか(東京大学大学院総合文化研究科)他 …………… 13

倒立静止の指導に関する発生運動学的研究 —— 体操競技初心者の男子大学生を例に ——

神門 大輔(東京学芸大学大学院教育学研究科)他 …………… 23

荷重超音波装置を用いた上腕及び大腿における筋硬度の年齢差と性差の検討

柴田 景子(日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科)他 …… 31

## 〈東京体育学会第10回学会大会 発表抄録〉

高校競技選手を対象とした心理技法の活用に関する一考察(その3)

小松 健一(アキラ株式会社) …………… 40

子どものフィジカルリテラシー習得に関する家庭環境調査について —— 今後の10年を見通す ——

中村 宏美(独立行政法人日本スポーツ振興センター) …………… 41

荷重超音波装置を用いた大腿における拮抗筋間の筋硬度比較

市川 萌(日本女子体育大学)他 …………… 42

様々な筋の収縮および弛緩時の筋活動動態

田口 徹(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)他 …………… 43

荷重超音波装置を用いた上腕及び大腿における筋硬度評価値の年齢差と性差の検討

柴田 景子(日本女子体育大学大学院)他 …………… 44

肩関節外転筋が同肢内他筋の皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響

伊藤 優史(早稲田大学院スポーツ科学研究科)他 …………… 45

三次元相同モデルおよび皮下脂肪分布パターンから女子大学生における体のかたちの定量的研究

相馬 満利(十文字学園女子大学, 日本体育大学)他 …………… 46

月経周期が短距離走パフォーマンスに及ぼす影響 —— 月経困難症のある2名の競技者の分析 ——

速水 舞(東京学芸大学)他 …………… 47

オープンウォータースイミングトップ選手の乳酸性作業閾値と競技成績の関係について 原 怜来(日本大学スポーツ科学部)他 .....	48
走タイプの異なる陸上競技者の生理学的特性と800m走能力との関係 上原 広太(国士舘大学大学院)他 .....	49
全力疾走における上肢, 下肢, 体幹部の角運動量の変化 富田 大智(立命館大学スポーツ健康科学部)他 .....	50
ハードル走初心者の運動感覚に着目した指導法に関する事例的研究 見澤 卓(東京学芸大学)他 .....	51
小学校児童における足部アーチ構造の変化と地面反力の関係 木内 聖(日本体育大学大学院)他 .....	52
小学校高学年児童における過体重が立位および歩行時の足部形状に及ぼす影響 野澤 巧(日本体育大学大学院)他 .....	53
野球の投手における異なる球種投球時の動作解析 山口 敦士(立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科)他 .....	54
カヌースラローム競技におけるカヤック種目のレース分析 平野 智也(日本体育大学)他 .....	55
ブラインドサッカー選手に対する全身振動刺激のトレーニングがステップ運動の成果に及ぼす影響 伊佐野 龍司(日本大学)他 .....	56
大学アルペンスキー選手における伸張-短縮サイクル運動中の下肢筋力の非対称性に関する研究 柏木 悠(専修大学スポーツ研究所)他 .....	57
跳躍運動における接地の意識差がパフォーマンスに及ぼす影響 宮内 育大(日本大学スポーツ科学部)他 .....	58
トランポリン競技における「ハーフィンハーファウト」の練習方法に関する考察 ——1/2ひねり込み局面に着目して—— 菊地 智周(東京学芸大学)他 .....	59
床面の違いが新体操競技における跳躍能力に及ぼす影響 浪江 誠弥(国士舘大学大学院)他 .....	60
倒立静止を安定させるための指導における事例的研究 ——体操競技初心者の男子大学生選手を例に—— 神門 大輔(東京学芸大学大学院)他 .....	61

東京体育学賞

大会	演者	演題名
第1回	該当者および該当論文無し	
第2回	該当者および該当論文無し	
第3回	該当者および該当論文無し	
第4回	該当者および該当論文無し	
第5回	掛水 通子(東京女子体育大学)	明治・大正期における女子中等学校体操科に果たした私立東京女子体操音楽学校卒業生の役割：『諸学校職員録』、『中等教育諸学校職員録』(1903 - 1926)を手懸かりに
第6回	柏木 悠(日本体育大学大学院トレーニング科学系)	伸腕屈伸力倒立の技術評価の試み
第7回	該当者および該当論文無し	
第8回	鴻巣 暁(東京大学大学院総合文化研究科)	逆上がりの遊脚期における下肢関節の機械的エネルギーへの貢献
第9回	宇津木 安来(東京藝術大学)	日本舞踊における「腰の安定」に関する研究 ——モーションキャプチャを用いて——
第10回	該当者および該当論文無し	

東京体育学奨励賞

大会	演者	演題名
第1回	小笠原 理紀(東京大学大学院)他2名	6ヶ月間の高強度筋力トレーニング中のディトレーニングとリトレーニングの効果
	佐久間 淳(早稲田大学大学院)他5名	同一動作速度のもとでの異なる動作負荷条件における腓腹筋内側頭およびヒラメ筋の筋腱動態
	中川 剣人(早稲田大学大学院)他3名	受動動作を含んだ協調動作の解析
	山崎 猛(国士舘大学大学院)他4名	テニスのフォアハンドストローク動作に及ぼす打点位置の影響
第2回	該当者なし	
第3回	内堀 昭宜(早稲田大学大学院)他6名	種々の競技におけるサービスの正確性に関する検討
	加藤 孝基(早稲田大学大学院)他3名	足関節筋のリラックスは手関節筋の皮質脊髄路興奮性を低下させる
	栗原 正明(国士舘大学大学院)他4名	トライアスリートにおける連続した自転車ペダリング運動時のクランク力及び下肢筋群の活動特性
	竹林 和史(国士舘大学大学院)他6名	野球捕手におけるスローイング動作の運動学的特性
第4回	小林 裕司(日本女子体育大学大学院)他4名	前腕部加温が下肢運動時における上腕動脈の逆行性血流成分を減少させる
	仁木 康浩(日本体育大学大学院)他4名	泳速の違いによる水中ドルフィンキック動作の変化
	秦野 純一(早稲田大学大学院)他2名	等尺性足関節底屈トルクと腓腹筋筋放電量の関係に及ぼすトルク増加速度の影響～収縮中の筋束動態の実測を通じた検討～
	坂東 龍一郎(国士舘大学大学院)他4名	腰部及び大腿部における野球選手の形態特性
	八重嶋 克俊(東京大学大学院)他3名	Lucas-Kanade法を利用した筋形状リアルタイム計測

第5回	小谷 究(日本体育大学大学院) 小谷 結香子(国士舘大学大学院)他5名 平野 智也(日本体育大学大学院)他4名	日本のバスケットボール競技におけるオフェンス参加人数に関する史的研究 女子新体操競技における A Terre と Releve 動作時のバランス能力 トレッドミル歩行における地面反力3成分の変動
第6回	羅 劉星(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)他1名 今若 太郎(国士舘大学大学院)他6名 竹澤 恵菜(国士舘大学大学院)他3名	武術太極拳の「弓歩冲拳」における上級者と下級者の比較 大学野球選手における走塁能力に関する研究 女子新体操選手における身体発育と動的バランス能力の発達
第7回	佐渡夏紀(東京大学大学院総合文化研究科)他2名 池上 聖史(国士舘大学大学院)他4名 嶋田 卓(日本女子体育大学大学院)他2名 相馬 満利(日本体育大学大学院)他5名	全力疾走における体幹側屈と股関節外転の力発揮による骨盤安定性への貢献の定量的比較とその相補関係性 短距離選手と長距離選手における下肢筋群の筋形状変化からみた収縮特性 下腿周径圍と腓腹筋硬度の日内変動 中学女子ソフトボール選手の身体的及び体力的特徴
第8回	川瀬 雅(日本女子体育大学大学院)他1名 北沢 綾子(東京大学大学院総合文化研究科)他2名 田村 飛鳥(国士舘大学大学院)他2名	芸術的スポーツとしての新体操 エネルギー効率の高い跳躍動作のメカニズムの研究 温熱刺激が骨格筋の収縮特性に及ぼす効果
第9回	山内 悠介(東京大学大学院)他3名 篠原 諒介(国士舘大学大学院)他2名 堤 幸治(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)他2名	幼児期における投球能力向上に効果的な練習方法の検討 筋の収縮及び出力特性に及ぼす高周波温熱刺激と筋活動 筋の弛緩が同肢内他筋の持続収縮力に及ぼす影響
第10回	伊藤 優史(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)他2名 柴田 景子(日本女子体育大学大学院)他2名 野澤 巧(日本体育大学大学院)他6名	肩関節外転筋の弛緩が手関節筋の皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響 荷重超音波装置を用いた上腕及び大腿における筋硬度評価値の年齢差と性差の検討 小学校児童における過体重が立位および歩行時の足部形状に及ぼす影響

※第2回大会は、東日本大震災のため、東京体育学賞・東京体育学奨励賞の選考を中止した。

## 編集後記

東京体育学研究第11巻をお届けします。今年度は編集委員の交代があり、新メンバーでの編集作業となりました。投稿論文として研究論文1編、研究報告3編が掲載され、後半は学会大会の抄録集になっております。昨年度に比べて論文の掲載数が増え、学会大会の発表数も増加傾向にあります。本学会は若手研究者の発表の場としての機能を重視しておりますので、今後一層多くの論文投稿と学会発表を期待いたしております。

御存知のように、今年3月に開催予定だった学会大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不本意ながら急遽中止せざるを得ない状況になりました。発表を予定されていた皆様には大変ご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。今後、改めて演題を発表する場を設けることを検討し、来年度の学会誌にも発表抄録が掲載できるように努めてまいります。

本誌に投稿いただいた会員の皆様と査読をお引き受けくださった先生方、編集委員の皆様ならびに学会事務局のスタッフの方々のご協力とご尽力に、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。新しい編集委員のメンバーで、今後の学会誌の在り方についても検討していきたいと考えておりますので、会員の皆様からもぜひ積極的にご意見やご提案をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

東京体育学研究編集委員会 委員長 沢井 史穂(日本女子体育大学)

## 編集委員

沢井 史穂(日本女子体育大学) 委員長  
岡出 美則(日本体育大学)  
宮地 元彦(医薬基盤・健康・栄養研究所)  
柏木 悠(専修大学) 幹事

令和2年3月30日 発行〔非売品〕

### 東京体育学研究 Vol. 11

発行 東京体育学会  
会長 船渡 和男  
〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1  
国士舘大学大学院  
スポーツ・システム研究科助手室内  
e-mail: tokyotai@kokushikan.ac.jp

印刷 清正堂加藤株式会社  
〒156-0041 東京都世田谷区大原1-59-21 TEL 03-3466-9103